

県政特集-1 分度推譲立県

こうした時代であればこそ、私は、確固とした理念を掲げ、県民の皆さまと力をあわせていくことが極めて重要であると考え、自立と自助、さらに互助による幸福の追求であります「分度推譲」の理念に基づき、「とちぎづくり」「分度推譲立県」を進めてまいりる決意をいたしました。

少子高齢化の進展、地球規模の環境問題、経済の減速や青少年問題など、我が国は、戦後かつて経験したことのない困難な状況に直面しており、日本の繁栄をこれまで支えてきた社会経済システム全般の変革が求められています。

私の考える「分度」とは、一人ひとりが自立し、個性や能力を十分に発揮しながら計画的に行動することによって、豊かさやゆとりを産み出していくという、持続可能な発展に向けた積極的な考え方であり、「推譲」とは、互いに譲りあい支えあうことによつて、豊かさやゆとりを共有し、県民すべてが幸福になることを目指すという、やさしきと思いやりの心の発露です。

私は、こうした「分度推譲」の理念を政策に活かす取り組みを着実に進めることによって、誰もが豊かで活力に満ちた生活を営み、自然や街並み、そして人々の心が美しきとやさしきにあふれる「活力と美しさに満ちた郷土」とちぎ」を二〇〇万県民の皆さまとともに築いてまいりたいと思います。

栃木県知事 福田昭夫



分度推譲立県



分度推譲による「とちぎづくり」

T O C H I G I

県民だより

4 2002 月号

編集・発行 栃木県広報課
平成14年4月14日発行

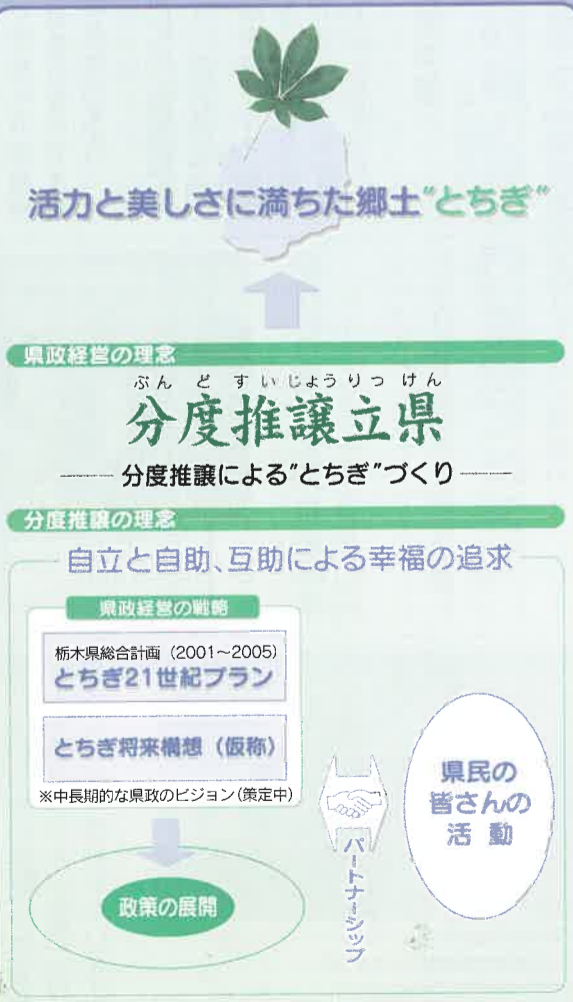
〒320-8501 宇都宮市埴田1-1-20
TEL 028-623-2192 FAX 028-623-2160
栃木県のホームページ <http://www.pref.tochigi.jp/>

栃木県の人口 (3月1日現在)

2,009,972人(前月比-164人、前年同月比+2,452人)
◎男 997,812人 ◎女 1,012,160人 ◎世帯数 680,331世帯

分度推譲の理念に基づく県政経営を進めてまいります

県では、自立と自助、そして互助による幸福の追求であります「分度推譲」の理念に基づき、「とちぎづくり」「分度推譲立県」を進め、二〇〇万県民の皆さまとともに「活力と美しさに満ちた郷土」とちぎ」の実現を目指してまいりたいと思っております。



分度とは 自立と自助

一人ひとりが自立し、個性や能力を十分に発揮しながら計画的に行動することによって、豊かさやゆとりを産み出していくことです。

組織における「分度」とは、時代の変化的確にとらえながら、社会のニーズにあつた価値を創造していくことによつて、持続的な発展や社会への貢献を続けていくことを意味しています。

さらに、社会を構成する様々な主体間においては、それぞれが自立し、求められる社会的役割を果たしていくことであり、自然との関わりにおいては、私たちに多くの恵みをもたらしてくれる自然と共生していくことであると考えます。

推譲とは 互助による幸福の追求

互いに譲りあい支えあうことによつて、豊かさやゆとりを共有し、県民すべてが幸福になることを目指していくことです。

「分度」によつて生じた豊かさやゆとりを、「推譲」によつて様々な形で社会に還元し、共有しあうことによつて、県民すべての幸福を追求していくことです。

このように、「推譲」とは、やさしきと思いやりの心により、人と人との豊かな結びつきを大切にし、互いに助けあう仕組みづくりであり、ひいては、県民が安心して生活できる社会づくりであると考えます。

また、私たちの日々の営みにおける豊かさだけでなく、将来の世代のために豊かさを伝えていくことも意味しています。

- ◆「分度推譲」について
- 江戸時代末期の篤農家で、本県との縁も深い「宮尊徳翁」の考え。これに現代的な解釈を加え、その理念を政策に活かした「とちぎづくり」が「分度推譲立県」。
- 個性や能力を伸ばす教育の充実
 - 豊かさやゆとりをもたらす文化の創造
 - 豊かさやゆとりの基盤となる産業の振興
 - 県政経営の自立を目的とした行財政改革、地方分権の推進
 - 大量消費、大量廃棄のライフスタイルの転換による環境への負荷軽減 など

- ボランティアやNPOなどの社会貢献活動の促進
- 地域コミュニティの活性化
- 安心できる暮らしの基盤となるセーフティネットの構築
- 将来を見据えた質の高い社会資本の整備
- 循環型社会の形成や自然保全 など

平成十四年度予算がスタート

教育医療福祉、産業の活性化を重視しました

一般会計予算は八、三三六億円

前年度と比べ、三・〇%のマイナス予算となりましたが、少子高齢対策をはじめ、教育の充実、県内経済の活性化と雇用対策などに積極的に取り組んでまいります。



7つの重点施策

- 少子化対策や高齢者・障害者福祉の充実
- 次代を担う人材の育成と教育環境の充実
- 県内経済の活性化と雇用対策の充実
- IT社会への積極的な対応
- 循環型社会構築に向けた総合的な環境対策の推進
- 個性のある地域づくり、まちづくりの推進
- 変革の時代における積極的な対応

県民1人あたりの歳出予算 合計 414,707円 (一般会計)	教育費 (24.3%) 100,932円
土木費 (16.9%) 70,220円	公債費 (借金返済)(14.1%) 58,335円
農林水産費 (7.1%) 29,281円	民生・衛生費 (福祉)(12%) 50,684円
警察費 (5.3%) 22,139円	商工労働費 (7.5%) 30,930円
災害復旧費 (0.6%) 2,361円	その他 (12.0%) 49,825円

基金を活用して県債の発行を抑制しました

県の歳入は、県税や国からの地方交付税、国庫支出金などが主な収入源となっています。

このうち、全収入の約四分の一を占める県税収入は、郵便貯金の集中満期の到来で一時的に増収となっていた県民税利子割が平年並みとなることや、景気の悪化に伴って法人事業税などが大幅に減少することが予測され、昨年度に比べ二億七千三百億円(一・九%)もの減収が見込まれています。

県では、地方交付税や国庫支出金の確保に努力していますが、前年度を上回る額は期待できません。また一方、将来にわたる財政負担を残さないよう、県の借金にあたる県債の発行はできる限り抑制しなければなりません。

このため県では、県民の豊かな暮らしを築くための予算を確保するために、財政調整基金などを最大限に活用することにしました。財政調整基金は、県がこれまで積み立ててきた貯金とも言えるもので、平成十三年度末の残高は八百九十五億円。これを五百九十億円取り崩すことにしました。

今年度の県債の発行は約九百八十億円。昨年度より約五十億円増加していますが、後に地方交付税として全額補てんされる臨時財政対策債の増分を除いては、昨年度より発行額は抑制されています。

また、県債残高は、平成十四年度末で、約九千八百十三億円の見込みとなっています。

政策評価に基づき重点施策を厳選しました

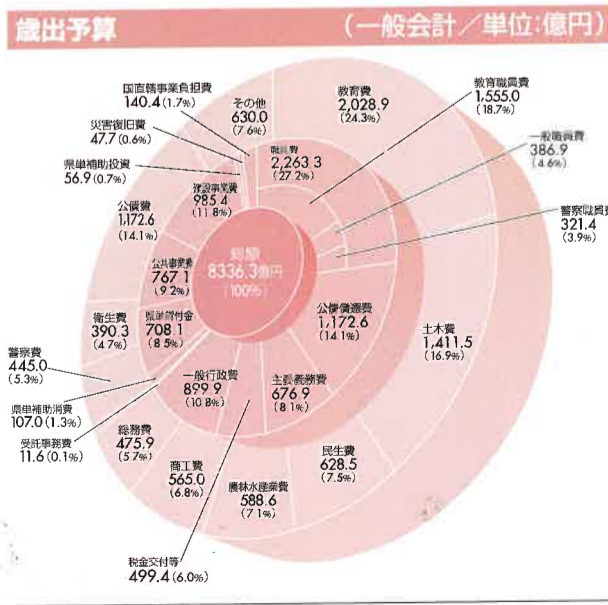
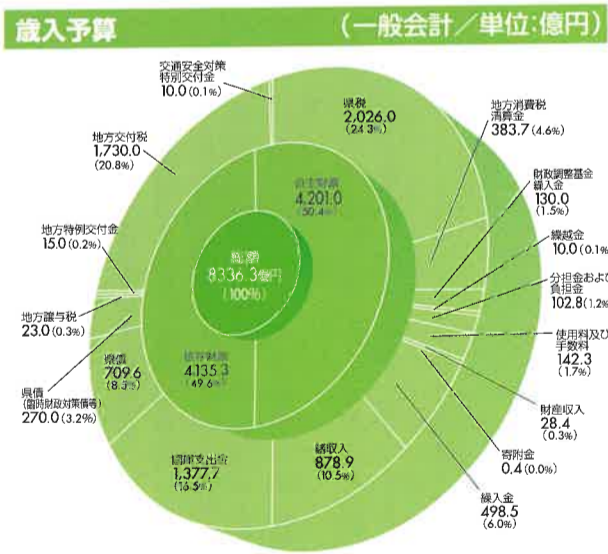
県では、こうした厳しい財政状況を十分に認識し、できる限り無駄のない県政経営をすすめるために様々な努力や工夫をおこなっています。

行政改革により簡素化や効率化をすすめることはもちろんのこと、予算要求の時点では要求限度額を設定し、各事業ごとに事業効果などを見直しながら事業の休止や統合化などをすすめています。

一方、重要な政策課題に対しては、昨年度導入した「とちぎ政策マネジメントシステム」をはじめ適正な政策評価を行い、緊急性や必要性の高い事業に優先して予算の配分を行いました。

今年度は、県政経営の指針である「とちぎ21世紀プラン」の様々な施策を着実に推進すること、少子化対策や高齢者・障害者福祉の充実をはじめとした七つの重点施策(上の図参照)に配慮して予算編成をおこなっています。

予算総額はマイナスとなり、但し、県民ニーズに的確に応えられる行政サービスの充実に一層努めながら、活力と美しさに満ちた郷土「とちぎ」づくりに積極的に取り組んでまいります。



活力と美しさに満ちた郷土「とちぎ」づくりへ

県民のみなさんの生活を支える予算です。県政経営の指針である「とちぎ21世紀プラン」も二年目を迎えます。今年度、新たに取り組む事業をはじめ、主要な事業をプランの五つの基本目標に沿って紹介します。

人 心豊かで元気な人を育むために

小学校第一学年非常勤講師配置事業 283百万円

小学校第一学年の三十六人以上の学級に非常勤講師を配置し、子どもたちが学校生活に適應できるよう、複数の教員でできるような指導を行います。

マイ・チャレンジ推進事業 20百万円

思いやりや感謝の心などを育むために、中学二年生を対象に自然体験やボランティア活動など社会体験活動を実施します。

性教育対策事業 4百万円

すべての県立高校において、生徒、教員、保護者を対象に、性に関する専門的知識を学ぶための

人 心豊かで元気な人を育むために

小学校第一学年非常勤講師配置事業 283百万円

講演会を開催します。また、県立高校生を対象に、性をテーマにしたピアカウンセリングを実施します。

マイ・チャレンジ推進事業 20百万円

身近な同世代の仲間と率直に語りあうピアカウンセリング。性についての正しい知識と自己決定能力を育てます

性教育対策事業 4百万円

NPOやボランティア活動など県民の自主的な社会貢献活動を促進するため、NPO等活動促進に関する基本方針を策定します。また、人と情報のネットワークづくりや各種情報提供・講座

健 いのち輝く健やかな社会づくりのために

乳幼児医療対策 1,400百万円

乳幼児医療費助成制度の対象を、就学前のお子さんまでに拡大し、お子さんの医療費にかかる経済的負担を軽減します。

小児医療対策検討事業 7百万円

高度な専門医療機能を備える子どものための病院「とちぎ子ども医療センター(仮称)」の具体化に向けた検討を行います。



今年3月に策定した「小児医療体制整備構想」に基づき小児医療体制の充実強化に向けて積極的に取り組みます

小児救急医療対策事業
146百万円

休日・夜間における小児救急患者へ適切に対応するため、地域の実情にあった小児医療救急医療体制の整備をすすめます。

在宅福祉対策事業
1756百万円

ひとり暮らし高齢者などが、介護を必要とせず、住み慣れた地域で自立した生活が送れるよう、配食、外出支援サービスや各種健康教室など市町村が行う生活支援事業等を支援します。また、公民館や空き教室等を活用し、趣味や健康づくり活動を通して地域の高齢者の方々が交流できる「はつらつセンター」を整備します。

男女共同参画プラン推進事業
8百万円

男女が共にいきいきと暮らせる社会づくりのために、ひきつぎ地域フォーラムを開催します。また、男女共同参画推進の基本的な考え方や県・県民・事業者それぞれの役割などを明らかにする「栃木県男女共同参画推進条例（仮称）」をつくり

知恵と技術の豊かな産業を伸ばすために

とちぎ新産業創出促進事業
204百万円

「とちぎベンチャーサポートプランネット21」により事業の構想

緊急地域雇用創出特別事業、とちぎの雇用対策事業
2405百万円

県や市町村など公的部門において、地域の実情に応じ雇用・就業の機会を創出します。また、県内の中高年齢者を対象に再就職セミナーや、求人企業との合同面接会をひきつぎ開催します。

産業活性化金融対策事業
39,233百万円

県内の中小企業の経営の安定のために融資制度を拡充します。



工業技術センター。15年4月オープンに向け建設がすすまっています。新製品や新技術の開発の支援拠点となります

快適で安全な暮らしを築くために

道路整備事業
61,475百万円

県内産業の活性化を支え、県民生活の利便性を高めるために、

快速で安全な道路網を整備します。



建設のすすむ宇都宮北道路。宇都宮環状道路と東北自動車道の宇都宮インターチェンジを結びます

新交通システムの導入推進事業
152百万円

将来の新たなまちづくりを支援するとともに、高齢社会や地球環境問題に対応する安全で信頼性の高い交通体系を確立するため、新交通システムの導入に向けた各種調査を実施します。

河川・砂防情報システム事業
345百万円

土砂災害や洪水などによる被害の最小化を図るため、雨量等の情報収集・解析をはじめ、土砂災害の危険地区や河川水位の予測情報などを市町村や県民へ提供する防災システムづくりをすすめます。

市町村ふれあいの郷事業
146百万円

農村の持つ豊かな地域資源を活用し都市住民との交流をすすめるため、体験農園や都市農村交流施設などを整備します。

環境かけがえのない環境を守るために

循環型社会形成推進事業
14百万円

環境に負荷の少ない循環型社会づくりのための基本原則や県民・事業者などの役割、政策手法などを明らかにした「栃木県循環型社会推進ビジョン（仮称）」を策定し、こみの減量化やリサイクルなどを積極的に推進します。

那須・塩原エコアップ事業
480百万円

那須・塩原地区の豊かな自然環境を守り、人と自然とのふれあいの場や自然環境学習の場をつくるため、自然公園内の歩道整備や情報提供施設の整備などを行います。



誰もが利用できるようユニバーサルデザインを導入した歩道。優れた自然を活かしながら、人と自然との共生をめざします

新エネルギーの導入促進事業
270百万円

県立学校や子ども総合科学館、とちぎ海浜自然の家に太陽光発電や風力発電設備を設置します。新エネルギーを県自ら率先して導入することで、県内への普及をすすめます。

行政改革に取り組み、財政の健全化をすすめます

県ではこれまで、県債の残高が予算総額を超えないように努めるなど、財政の健全化に積極的取り組みをすすめてきました。しかし、国と一緒に行ってきた景気対策や平成十年に発生した災害の復旧推進のために発行してきた県債の償還費をはじめ、介護保険制度などの社会福祉関係の義務的経費がひきつぎ増加する一方、景気の悪化等により県税の大幅な減収が見込まれるなど、県の財政は、従来にも増して厳しい状況にあります。

こうしたなか、県では、行政改革のより一層の徹底を図るために、「栃木県新行政改革大綱」を今年三月に改訂しました。財政についても、新たに二つの目標を設定するなど、健全化に向けた取り組みを積極的にすすめることとしています。

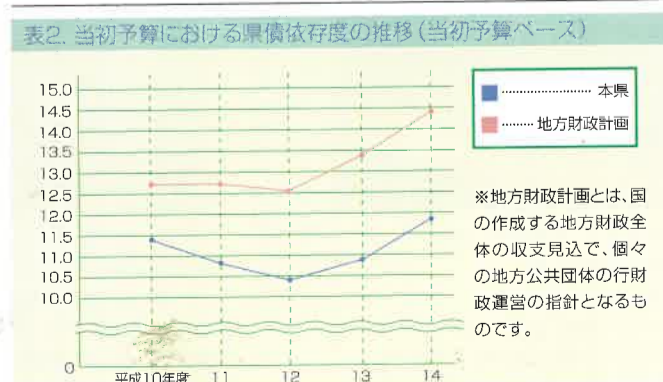
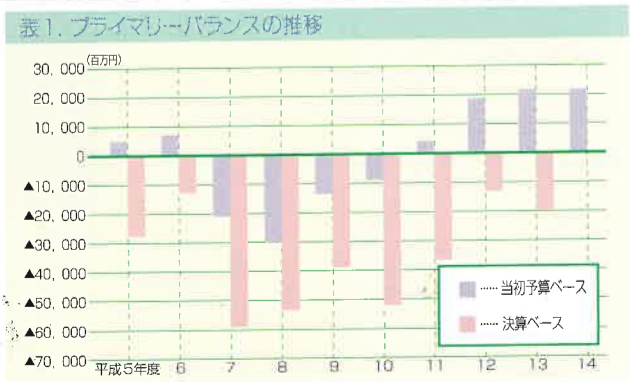
将来にわたり県民の期待に適切に応えられる行政サービスを安定して提供していくためには、中長期的な視点で財政の健全化を図っていくことが大変重要であると考え、今後は、この目標の達成

財政健全化のための目標

目標1 行革大綱期間（平成十三～十七年度）内に、決算ベースにおけるプライマリバランスの均衡を図る（公債償還費（利子含む）を除いた歳出が、県債発行以外の収入で賄われている状態にする）※詳しくは「口メモ」を、これまでの推移は表1を参照

目標2 県債の発行に関しては当初予算における依存度（歳入予算額全体に対する県債の額の割合）が前年度を上回らないようにする※これまでの推移は表2を参照

◇問合せ 県財政課
TEL〇二八―六三三―二〇一八



一口メモ

◆プライマリバランスとは?

歳出のなかの公債償還費（利子を含む）と歳入のなかの県債（借入金額）を比較して得られる数値により、財政状況を簡単に把握するものです。

借金の返済額（利子を含む）が、借り入れ金額を上回っていれば、新たな借金は過去の借金の元利払いのためだけに使われ、県の借入残高が大きく膨らんでいくことはありません。

information とちぎテレビ

県の広報番組

クロスアップ とちぎ 毎週土曜日 9:00~ 9:30 (再)月曜日 22:00~22:30

4月20日 とちぎの緑づくり～春の緑化推進運動
27日 県立美術館開館30周年・クールペ展
5月 4日 分度推薦立県
11日 国会等移転の動き

22アワー 毎週日曜日 18:05~18:30 (再)月曜日 12:10~12:35

4月21日 子ども総合科学館リニューアル
28日 春の交通安全県民総ぐるみ運動
5月 5日 Jr.知事さん 他
12日 児童生徒指導を考える


*4月21日放送
リニューアルした子ども総合科学館「情報の科学コーナー」を中心にご紹介します

とちぎ情報局 毎週日曜日 9:00~ 9:45 (再)木曜日 22:00~22:45

4月21日 相田みつを「語りかける『書』」
28日 ゴールデンウィークおでかけガイド
5月 5日 おもちゃのお医者さん(壬生)
12日 足利モダンズム遺産

◇問合せ 県広報課 ☎028-623-2190

花の歳時記




ミズバショウ (サトイモ科)

高層湿原の名花は県内でも数カ所に分布しています。根が大変深く移植は不可能。気温の上昇につれ、葉が1mにも成長します。この巨大な葉が芭蕉の由縁。養分をたくさんため込み、春を咲くための準備をします。

ウォッチングポイント

塩原町大沼、栗山村土呂部は木道も完備され快適に観察できます。今年は例年より開花が早く、今が見頃です。




自然とふれあおう

早春の奥日光に出かけましょう

低公害バスの運行が始まります!

- 運行開始日 4月26日(金)
- ルート 赤沼駐車場～小田代原、西ノ湖、千手ヶ浜



「赤沼自然情報センター」オープン!

- 奥日光の様々な自然情報を提供しています。ぜひご利用ください
- 4月26日(金)オープン
- 場所 県営赤沼駐車場となり
- 開館時間 午前9時～午後4時
- 休館日 毎週月曜日 (休日の場合は翌日)
- 問合せ 日光自然博物館 ☎0288-55-0880

なかがわ水遊園で水とふれあおう

ゴールデンウィークイベント

- 水遊園で地引き綱
5月6日(月) 正午～、当日受付
つり池で地引き綱を体験します
- マスのつかみどり
4月27日(土)～29日(月)
5月 3日(金)～ 5日(日)
各日とも午後1時30分～
当日受付(先着30名)
- このほか、1日アクアキーパーなど、期間中様々なイベントを行います。詳しくはお問い合わせください
- 所在地 湯津上村佐良土2686
- 問合せ ☎0287-98-3055 (月曜休園、月曜が休日の場合は翌日休園)

文化情報

子ども総合科学館

宇都宮市西川田町567 ☎028-659-5555

- **プラネタリウム特別番組「星空さんぽ」** 4月20日(土)午後3時から
- **春の星座と池谷・張すい星を紹介** します
- **あそぼう工房特別プログラム** 4月21日(日) ①午前10時～正午 ②午後1時～3時 おじいちゃん、おばあちゃんと一緒によもぎだんごをつくりましょう ● 電話申込み(先着40組)
- **ゴールデンウィーク特別企画「立体映像忍たま乱太郎」** 4月27日(土)～5月6日(月) ● 大人気アニメがフルCG立体映像になって登場します
- **星をみる会** 5月6日(月)午後7時～ ● おおぐま座をさがそう
- **ASOBOタイム** 5月12日(日) ● 遊びのボランティアと一緒に外で遊ぼう


※「子どもの日」の5月5日(日)は全館無料公開します

文化情報

県立美術館

宇都宮市桜4-2-7 ☎028-621-3566

- **開館30周年記念クールペ展ー自然と女性ー** 5月26日(日)まで ● 19世紀フランス写実主義の巨匠クールペ(1819～1877)の芸術を、油彩、素描、版画約100点の代表作により展覧します
- **関連講演会** 5月5日(日)午後2時～ ● 講師 鈴木杜幾子さん(明治学院大学教授) ● 入場無料
- **ギャラリーコンサート** ● クールペの時代の音楽から現代まで「須川展也ークラシック・サクソフォンの魅力」 5月18日(土)午後3時～



シヨン城 1874年 クールペ美術館蔵

文化情報

県立博物館

宇都宮市睦町2-2 ☎028-634-1312

- **開館20周年記念企画展「とちぎの宝ものがたりー文化財茶室ー」** 4月27日(土)～6月16日(日)
- **記念講演会「とちぎのお宝自慢ー栃木県美術文化を見直そうー」** 5月19日(日) 午後1時30分～ ● 電話申込み(先着200名) ● 入場無料
- **企画展展示解説** 4月27日、5月4日、11日、18日(いずれも土曜日) 午後3時～ ● 定員 各先着30名
- **アニメ映画大会** 5月3日(金)～5日(日) 午後2時～3時 ● 「ニルスの不思議な旅」ほか ● 定員 先着200名 ● 入場無料




厨子入木造 大日如来坐像 光徳寺蔵

文化情報

県総合文化センター

宇都宮市本町1-8 ☎028-643-1010

- **羽田健太郎ピアノ&トークコンサート** 4月20日(土)午後6時 30分開演 ● プログラム 日本の四季、羽田健太郎オリジナル、スクリーンミュージック他
- **劇団四季ミュージカル「赤毛のアン」** 5月14日(火) 午後6時30分開演
- **PMFオーケストラ特別演奏会** 7月24日(水) 午後7時開演 ● 指揮/シヤルル・デュトワ、ピアノ/マルタ・アルゲリッチ 4月20日(土) チケット発売開始
- **第5回しもつけ写真大賞展** 4月17日(水)～24日(水) 第3・4ギャラリー ● 大賞作品「紅葉の宿」他、入選作品を展示します



羽田健太郎

栃木県のお知らせ

募集

- **交通事故ゼロチャレンジ200**
 - 家族で、仲間チームを結成して、200日間(6月15日～12月31日)、無事故・無違反を目指してください。達成した全チームに達成賞を、また抽選で旅行券をプレゼントします ● 県内に在住、通勤・通学している方で編成したチームでご応募ください ①家族チーム/同居の家族全員(2人以上) ②一般チーム/4人1組の自動車運転免許保持者 ● 参加費 1チーム500円 ● 募集期間 4月15日(月)～6月14日(金) ● 問合せ 交通事故ゼロチャレンジ200実行委員会(県交通対策課内) ☎028-623-2183
- **県保健医療計画策定協議会の委員**
 - 保健・医療についての総合的な施策についてご意見をいただきます ● 募集人数 3名 ● 応募資格 県内在住の満20歳以上の方(公務員は除く)で、4回程度開催する会議に出席し積極的な発言ができる方 ● 応募方法 住所、氏名、生年月日、性別、電話番号、職業を明記したものに応募動機などの自己PR文(800字程度)を添えて、郵送、ファックス、Eメールで ● 応募締切 5月15日(水) 消印有効 ● あて先 問合せ 県保健福祉課(宇都宮市塩田1-1-20) ☎028-623-3103、FAX028-623-3131、Eメール hofuku@pref.tochigi.jp
- **とちぎエコサポーター**
 - 環境保全活動を実践していただくとともに、県の環境施策にご意見を寄せさせていただきます ● 委嘱期間 平成15年3月まで ● 募集人数 100名 ● 応募資格 県内在住の満18歳以上の方(公務員は除く)で、環境保全活動を実践している方など ● 応募方法 住所、氏名、年齢、性別、電話番号、職業を明記したものに「環境問題に関する考えやこれまで取り組んできた環境保全活動など」(1,000字程度)を添えて、郵送、持参、Eメールで ● 応募締切 5月10日(金) 消印有効 ● あて先 問合せ 県環境政策課(宇都宮市塩田1-1-20) ☎028-623-3186、Eメール shigetaki01@pref.tochigi.jp
- **青年海外協力隊**
 - 応募資格 満20歳から満39歳までの方 ● 募集分野 農林水産、加工、保守操作、土木建築、保健衛生、

- **教育文化、スポーツ ● 派遣期間 原則として2年間 ● 募集締切 5月20日(月) ● シニア海外ボランティア(満40歳から満69歳までの方)も募集しています ● 問合せ 県国際交流課 ☎028-623-2198**
 - **県立がんセンターの病院ボランティア**
 - 院内で活動いただく各種ボランティアを随時募集しています ①図書ボランティア 待合室や病棟に設置している図書コーナーで図書・テープの管理、貸出しなどを行います ②外来ボランティア 院内の案内や車椅子の介助、待合室の整理などを行います ③緩和ケアボランティア 緩和ケア(ホスピス)病棟に入院している患者さんのお世話をします。ベランダの手入れや行事のお手伝いをします ● 問合せ 県立がんセンター ☎028-658-5794
 - **県立高等産業技術学校入学生(求職者向け)**
 - 雇用保険受給資格者の方などを対象に、再就職に向けた職業訓練を2～3か月間で行います。詳細は各校へお問い合わせください
 - **【県央校(宇都宮市) ☎028-689-6380】** インテリアビジネス科、福祉サービス科、建築CAD科、OAビジネス科、パソコン(IT対応)科、ビル・マンション管理科など
 - **【県北校(那須町) ☎0287-64-5454】** パソコン(IT対応)科、OAビジネス科
 - **【県南校(足利市) ☎0284-91-0803】** OAビジネス科、OA事務科
- ## 講座
- **「バルティ(とちぎ女性センター)の講座**
 - **◎広報誌編集講座** 5月23日(木)・24日(金) 午前10時～午後4時 ● 編集に必要な企画力・基礎知識・技能を学びます ● 定員30名 ● 参加費 2,000円 ● 募集締切 5月9日(木)
 - **◎くらしの時事解説講座** 5月22日、7月31日、9月25日、11月27日(いずれも水曜日) 午後7時～8時30分 ● くらしや女性問題などのニュースの背景をわかりやすく解説します ● 講師 新川忠孝さん(下野新聞社論説委員長) ● 定員20名 ● 参加無料 ● 募集締切 5月8日(水)
 - **◎申込み** 電話、ファックス、Eメール、来所
 - **◎問合せ** 同センター(宇都宮市野沢町) ☎028-665-7706、FAX028-665-7722 Eメール parti@mtf.biglobe.ne.jp
 - **とちぎ県民カレッジ主催講座**
 - 前期(6～8月)の受講者を募集します ● 講座の種類 歴史、自然、文学、日光、生活充実、国際理解、環境(各

- **講座1回2時間、全10回) ● 参加費 5,000円または6,000円 ● 定員 各80名 ● 募集締切 5月7日(火) 消印有効 ● 講座内容、応募方法など詳細はお問い合わせください ● 問合せ (財)とちぎ生涯学習文化財団 ☎028-643-1006**
- ## 案内
- **食品表示110番を設置しました**
 - 偽装表示など不審な食品表示に関する情報や食品表示制度に関する相談・質問をお受けします
 - 開設場所 県経済流通課(☎028-623-2298、FAX028-623-2301)、食と農の相談室(県農政課内)、各農業振興事務所
 - **県小児医療体制整備構想を策定しました**
 - 小児医療体制の充実強化に向けた構想です。構想は、県ホームページでご覧になれます ● HPアドレス <http://www.pref.tochigi.jp/> ● 問合せ 県児童家庭課 ☎028-623-3241
 - **中小企業者向けの設備資金制度のお知らせ**
 - 対象 県内に事業所のある中小企業者、創業者 ● 制度の種類/貸付限度額、割賦損料等 ①設備貸付/100～8,000万円、年率2.65%以内 ②設備資金貸付/50～4,000万円(貸付率2分の1)、無利子 ● 対象設備 経営基盤の強化を図るために導入する設備等 ● 貸付等期間 7年 ● 問合せ 栃木県産業振興センター ☎028-637-3784
 - **不動産取引紛争相談の開催について**
 - 4月18日(木)、5月16日(木)、6月6日(木) 午後1時30分～4時 ● 会場 塩田会館(宇都宮市) ● 内容 宅地建物取引業者との不動産取引に関するトラブル相談 ● 相談無料 ● 事前に電話でお申し込みください ● 問合せ 県住宅課 ☎028-623-2488
 - **春の農作業安全運動推進期間**
 - 期間 6月30日まで ● 農繁期を迎え、農作業の安全対策と事故防止に十分心がけてください
 - **「とちぎ健康21プラン」のホームページを開設**
 - 県の総合的な健康づくりの指針をご紹介します。健康料理レシピ、市町村別の1万歩マップなども掲載しています。健康づくりにお役立てください。
 - HPアドレス <http://www.pref.tochigi.jp/> ● ※行政情報(保健・医療)からご覧ください

往復はがきに次の事項を記入の上 応募してください(お1人様1枚有効)

返信おとも 返信うら

320-8501	記入しないで下さい
県文化振興課内	県民の日
イベント係 行	

郵便番号

ご自分の住所 氏名

イベント名 住所 氏名 電話番号

返信おとも 返信うら

- 応募締切 5月10日(金) 当日消印有効
- 応募多数の場合は、抽選になります
- 就学前のお子さんの入場はご遠慮ください
- 問合せ 県文化振興課 ☎028-623-2153

応募方法



- 日時 6月8日(土) 午後6時～8時
- 場所 二宮町民会館
- 定員 500名
- 曲目 「ウェーバー 歌劇「魔弾の射手」より序曲 プラームス 交響曲、第4番 小短調 他 指揮/小松長生 ヴァイオリン/三浦章広

「県民の日」記念イベントのご案内

6月15日は「栃木県民の日」です。今年も、各地で地域の特色をいかした様々なイベントが開催されます。今回は、県で実施する応募の必要なイベント(参加無料)をご紹介します。

古典芸能「下野楽師寺新能」



- 日時 6月8日(土) 午後6時～8時
- 場所 南河内町ふるさと歴史の広場(下野楽師寺歴史館西側駐車場)
- 定員 1,000名
- 演目 能「船弁慶」観世流 坂井音重 他 狂言「蚊相撲」大藏流 山本東次郎 他

※JTB自治医大駅からバス運行を予定しています(有料、予約制)